

平成 30 年度
塩田ホーム事業活動報告書



社会福祉法人 大地の会

＜平成 30 年度 塩田ホーム基本方針 ～平成 30 年度事業計画より抜粋～＞

～ 大地の会 5 か年基本計画の結びの年として ～

平成 26 年より掲げた 5 か年基本目標に基づき事業活動を展開し、本年度はその最後の年となります。そして、平成 30 年度は介護保険法改正の年ということもあり、特養やショートステイの重度化対応や在宅サービスのリハビリテーション機能強化対応について、各種加算の新設等で評価が明確にされたが、これまでの塩田ホームの取組と重なる部分が多くみられ、こうした計画的な事業展開が制度改正の対応力になっていることもあり、安定的な経営、運営へと発展した 5 か年であったと考えます。

不特定多数の要介護高齢者に対して、安心して利用できる介護サービスを提供していく力を今後ますます身につけていくためには、更なる事故防止活動に力を入れていく必要があります。そして、そのうえで個別的ケア計画（認知症ケア、口腔ケア、褥瘡予防、排泄ケア支援、栄養ケア等）の実践力を磨いていくことを 5 か年目の大きなテーマとして取り組んでいきます。

また、平成 30 年度介護保険法改正では、共生型サービスが動き出しています。

そのため、塩田ホームでも取り組んできた障害福祉サービス居宅介護や特定相談支援を継続することに加え、ショートステイ、デイサービスの共生型サービスの指定申請検討を進めていきます。

過去 5 年間から振り返ると、基本計画開始当初の想定通り、職員の増員に伴い、組織としての多様な在り方が問われてきています。

塩田ホームでは、5 か年基本計画に基づいて、塩田ホーム委員会活動を活発に取り組んできました。そして、この各委員会の活動を通じて、業務効率化を推進や設備管理、業務委託業者との連携の促進につながっています。今後もこうした活動の効果を図るために、継続した委員会活動を推進していきます。

昨年塩田ホームでは、多様な人材の活用と題して、「限定正職員制度の導入」や「障害者枠の設定と雇用」を進めてまいりました。これは、職員の仕事と家庭の両立を支援するための取り組みであり、今現在働く職員にとっての環境向上を見据えた取り組みであります。また、社会的な問題となっている介護人材不足に対するアプローチは、事業所として積極的に継続して今後も対策を講じていく必要があります。平成 30 年度も定期的な就職相談会を経て、重点的に塩田ホームの PR 活動を行うことや、現職員の内外の研修参加や他事業所との人材交流をすすめていきたいと思ひます。

5 か年計画の結びの年であることは、次の 5 か年（中、長期目標の設定）を見据えた年にしていく必要があります。塩田ホームでは、社会福祉法人としての使命を追求していくため、新たな事業展開を検討してきた結果、平成 31 年 3 月には大和市南林間に特養を開設する運びとなっています。

また、社会福祉法人としての公益的な取り組みとして、主体事業の付加サービスとして様々な活動を行ってきました。引き続き地域ニーズをとらえながら公益的な活動への取り組みを行い、新たに開始される「外国人技能実習制度」の準備や「塩田ホームを拠点とした更なる事業展開」を踏まえた計画の準備をすすめていきます。

<社会福祉法人大地の会塩田ホーム 平成30年度の主な取り組みの成果>

1、利用者視点でのサービスの質の向上への取組について

<ユニット・グループケアの充実に向けての重点項目>

- ① セミパブリックスペースの活用充実（入居者の生活空間の充実に向けて）
- ② 事故防止活動の推進
- ③ 安心できるケアの推進と福祉用具の活用
- ④ 個別ケア（認知症ケア・褥瘡・排泄支援）計画の実践
- ⑤ 個別情報の電子化と介護業務量の適正化への取組

<活動の成果>

ユニット型特養では、セミパブリックスペースのコーナーを有効活用するための応接セットを用意し、ご利用者やご家族の談話ルームとして活用し、訪問美容や訪問歯科診療の活動の場として有効に利用することができるようになっていました。ご家族の面会時の談話スペースにもなっており、リラックスできる空間を演出することができました。

事故防止のための推進活動として、福祉用具による事故防止の取り組み（センサーマットの増設等）や車いすのメンテナンス研修を実施しています。

介護ソフトほのぼのの活用による記録の電子化を進めており、統計データの活用のための日々の記録構築が進んでいるため、次年度以降は電子化したデータの活用が可能となるように取り組んでいきたい。

2、地域ニーズに対応できるサービスと新たなサービスの創設

<訪問介護事業所による障害福祉サービスの更なる展開についての重点項目>

- ① 特定相談支援の事業を推進（担当者増員）
 - ② 障害福祉サービス居宅介護の事業を推進
- #### <共生型サービスの展開に向けての重点項目>
- ① ショートステイの指定検討（共生型サービス）
 - ② デイサービスの指定検討（共生型サービス）

<活動の成果>

訪問介護事業所による障害福祉サービスの展開については、移動支援の利用拡大や障害福祉サービス居宅介護と合わせて行動援護事業も利用拡大してきており、同時に特定相談事業として担当している計画相談の担当件数も拡大してきている。特に計画相談に関しては、他事業所閉鎖等による作成依頼も増えていることから、次年度は相談支援専門員の研修の件等を実践していきたい。

また、共生型サービスについては、現在短期入所サービスの利用が平成30年10月より展開をており、主にモモユニットを中心に共生型サービス利用を展開している。高齢者のケアサービスの場合、障害者ケアのサービスの場を両立しながら展開するという高度なケアサービスが求められているが、少しずつ地域のニーズに添えていくことを次年度も目指していきたい。

3、安定した経営、運営基盤の確立

＜組織運営の安定とサービス稼働状況の確認と重点項目＞

- ① 各セクションの稼働状況の見える化と空床対策強化
- ② 委員会活動の効率化と見える化

＜ランニングコスト対策・委託業者との連携と重点項目＞

- ① 省エネ診断結果に基づく空調コントロール対策の継続
- ② 委託業者（給食・清掃等）との連携

＜活動の成果＞

毎月の運営会議の中で各部門（サービス）の利用状況、稼働率について確認をする作業の精度を向上させ、特養についての空床利用対策、ご利用者のニーズとサービス提供状況のマッチングを促進することができた。また、事故発生状況の統計、苦情相談件数の受付状況の統計を取りながら、各委員会活動の中で具体的な取り組みを実践することを意識し、次年度に向けて「ご利用者の骨折や擦過傷防止対策」「介護職の負担軽減を図った福祉用具活用」「ご利用者、ご家族に向けたアンケート」といった取り組みを意識していくことにつながった。

水道光熱費の使用状況の把握も同時に行い、過不足のない状況かどうかを追跡で確認しながら取り組むことができています。次年度の対策にあがっている「給食サービスの体制の変更」とあわせて、引き続き委託業者等との連携も深めながら、コスト削減を継続して行っていきたい。

4、職員の働く環境整備、人材育成、計画的な人材採用

＜主な人材確保・定着対策の強化に対する重点項目＞

- ① 内外の研修の充実 無資格者への資格取得支援
- ② キャリアパス制度の運用による職員教育の充実
- ③ 顧問（社会保険労務士・弁護士・税理士）連携の推進
- ④ 定期的な就職相談会の開催（塩田ホームを知ってもらう活動を強化）と障がい者雇用推進
- ⑤ 他事業所との人材交流の活発化（湘南組合、相模原高齢協）

＜活動の成果＞

無資格者への資格取得支援は、継続して行うことができおり、平成30年度も1名の無資格者に対して初任者研修の受講支援を行った。その他の研修についても、特に内部研修では研修計画に基づきながら取り組んでいる。今後も職員のモチベーション向上のために「外部講師の活用」を検討しながら、内部研修の充実を図っていきたい。

人材採用については、「障害者雇用」「学生ボランティアの呼びかけ」「職場就労体験」といった取り組みを随時行うことができた。塩田ホームという事業所を知ってもらうための「パシフィコ横浜施設紹介ブース出展」「相模原市高齢協の各部会参加と情報交換」「市内各学校との連携」といった取り組みを引き続き深めていきたい。

5、社会福祉法人としての使命の追及

<法人事業部の活動>

- ① 大和市特養ほの里開設（H31.3）に向けた諸対応
- ② 新規特養開設に伴う積極的な人材採用活動の展開
- ③ 塩田ホーム公益的な取り組みの展開
- ④ 塩田ホーム拠点による新規事業の展開を検討、実施へ
- ⑤ 外国人技能実習制度受入対応に向けて

<活動の成果>

大和市においては、平成31年3月に特別養護老人ホームほの里南林間が開設となり、多くの職員を採用し、入居者への支援も順調に進めることができています。

相模原塩田ホームにおいては、これまでの活動の通り地域の各関係団体との連携を深めるために、地域懇談会を開催しながら、塩田ホームのイベント協力をいただいたり、塩田ホームの共有スペースを地域住民の体操活動の場として利用していただくなど、新しい取り組みもはじまっており、引き続き地域との交流を深めていきたい。

2019年7月以降は、ベトナムからの外国人技能実習制度における実習生が2名来日し、実習活動を進める予定となっており、今後も毎年複数名の実習受け入れが可能となるように、計画、実行していきたい。

〈平成 30 年度 塩田ホーム 各委員会活動報告〉

【福祉用具管理運用委員会】

開催実績	H30.4.17(火) H30.5.17(火) H30.6.19(火) H30.7.17(火) H30.8.21(火) H30.9.18(火) H30.10.15(火) H30.11.20(火) H30.12.18(火) H31.1.15(火) H31.2.19 (火) H31.3.19 (火)
今年度委員会での協議・活動内容	◎車椅子使用者の適正化、福祉用具の整備 ・本館 1 階、ふじ、あかしあ車椅子清掃 ◎福祉用具の総数の把握 ・4 福祉用具台帳、修理台帳の作成 ◎福祉用具勉強会 10/18 開催 ・福祉用具を取り扱う業者に講師をお願いし、車椅子の整備方法を学びました。 ◎車椅子を保管する場所の確保 ・本館 2 階の車椅子置き場を 2 段にして頂き、より収納スペースを確保しました。 <修理、購入物品状況> ・5/13 車椅子座位保持用クッション 3 点購入 ・5/14 ワイヤレスフロアセンサーマット 5 台購入 ・6/18 チェアセンサー部品修理 2 台 ・7/4 センサーマット修理依頼 1 台 ・7/20 ワイヤレスフロアセンサーマット 2 台購入 ・9/12 車椅子修理 5 台 NC ボタン 1 台購入 ・H31/2/20 リユース車椅子 2 6 台購入 ・H31/3/21 NC マット修理 1 台 エアーマットポンプ修理 1 台 ・H31/3/26 チェアセンサー修理 3 台
次年度に向けて	○福祉用具使用者に対し、定期的に評価を行い、適正化を図る ○車椅子の整備（各ユニットで定期的に清掃、空気入れの時間を確保する） ○新規の福祉用具の活用 ○保管場所の確保 本館 2 階 倉庫棚に新たな保管場所を設置 ○福祉用具の総数の把握（誰がどの福祉用具しようしているのか正確に） 月ごとに各ユニット車椅子一斉清掃行い、各職員に常に車椅子を清潔に保つことを意識してもらう。（本館 2 階、新館 1 階）

【看取り介護向上委員会】

開催実績	H30.4.17 (火), H30.6.19 (火), H30.8.21 (火), H30.10.16 (火), H30.12.18(火), H30.2.19(火) (研修 H30.4.23 (月)・4.25 (水)・H31.3.19(火))
今年度委員会での 協議・活動内容	看取りの指針見直し 委員会メンバー役割分担確認 研修 4月 緊急時の対応・医療に関する知識 看取り外部研修参加「平穏死のために私たちが考える事」 ＜看取りケアの実施と評価＞ 4月 本館0名 新館2名 本人らしさをみんなで考えケアに生かすことができた。 5月 本館0名 新館1名 長期入所の方で、本人希望を取り入れながら看取れた。 6月 本館0名 新館1名 在宅酸素を取り入れながら、看取りを行った。 7月 本館0名 新館0名 8月 本館0名 新館0名 9月 本館0名 新館0名 10月 本館2名 新館1名 11月 本館1名 新館2名 癌の末期の方。疼痛緩和など検討した。 12月 本館1名 新館0名 最終的に本人・家族希望により自宅で看取られた。 1月 本館3名 新館0名 2月 本館1名 新館0名 医療行為をどう考えるか、課題となった 3月 本館0名 新館0名
次年度に向けて	委員会での看取りケアの評価・改善の継続 加算算定に向けての取り組み強化 内部研修の実施 看取り期に全員で関わり質を上げていく

【身体拘束廃止及び権利擁護委員会】

開催実績	H30.4.11 H30.5.9 H30.6.13 H30.7.11 H30.8.8 H30.9.12 H30.10.10 H30.11.14 H30.12.12 H31.1.9 H31.2.13 H31.3.13
今年度委員会での 協議・活動内容	・身体拘束0件 ・身体拘束、虐待防止。 ・なぜ身体拘束はいけないのかをテーマに内部研修（6月各部署）（9月全体） ・各部署」での問題についての報告、検討。 ・自己点検票 身体拘束、虐待防止の内部研修
次年度に向けて	・引き続き各部署での問題についての報告、検討 ・定期的な身体拘束の内部研修（12月全体）（3月各部署） ・自己点検票実施。（12月） ・12月自己チェックシート集計・結果。身体拘束定義・高齢者虐待権利擁護 ・3月身体拘束の定義・高齢者虐待・権利擁護 各グループ・ユニット勉強会実施。

【施設行事委員会】

開催実績	H30.4.20（金）、H30.5.18（金）、H30.6.8（金）、H30.6.22（金）H30.7.11（水） H30.7.27（金）、H30.8.10（金）H30.8.24（金）H30.9.12（水） H30.10.22（月）、H30.11.9（金）、H30.12.6（木）、H31.2.22（金）H31.3.22（水）
今年度委員会での 協議・活動内容	・文化祭取り組み・準備 ・11月文化祭の実施、反省 ・餅つき取り組み・準備 ・12月餅つき、反省 ・家族交流会次年度に延期 ・3月デイ15周年喫茶（施設全体） ・新年度の取り組み
次年度に向けて	・年間行事、納涼祭に向けての打ち合わせ ・5月 地域懇談会 ・6月 白寿会 ・7月 塩田夏祭り ・8月 納涼祭 ・9月 敬老会（さんま祭り） ・納涼祭準備、役割分担 ・納涼祭最終打ち合わせ、進捗状況、準備 ・納涼祭反省 ・文化祭準備

【防災対策委員会】

開催実績	H30.4.4 H30.5.2 H30.6.29 H30.7.9 H30.8.31 H30.9.5 H30.10.31 H30.11.7 H30.12.7 H31.1.11 H31.2.6 H31.3.6
今年度委員会での 協議・活動内容	・委員会計画書の確認 ・今年度火元責任者の通達 ・災害時通信機器（トランシーバー等）の点検、補充 ・非常用水栓使用方法の通達（マニュアル配布） ・土砂災害想定避難誘導訓練 ・デイ避難誘導訓練・夜間想定避難誘導訓練 ・夜間帯避難誘導の際のマニュアル配布 ・消化、通報訓練・施設内設備点検
次年度に向けて	・土砂災害想定（今年度より実施）の避難誘導訓練の継続。 ・夜間想定訓練では職員数を実際の夜間帯と同じに限定して取り行った。少人数で対応する事で、実際にその人数で対応する際どうすればいいのか各職員が考える機会にもなり、より実用に合った訓練になった。次年度も同様の訓練を継続していく。 ・災害時通信機の使用法の周知。 ・施設内点検の際、不備があった箇所の修理

【労働衛生委員会】

開催実績	H30.4.9 H30.5.24 H30.6.21 H30.7.26 H30.8.23 H30.9.20 H30.10.25 H30.11.27 H30.12.27 H31.1.24 H31.2.28 H31.3.28
今年度委員会での 協議・活動内容	・平成29年度の健康診断の結果に基づき、産業医より健康相談を実施 ・労災の状況の確認 ・時間外勤務の発生状況の確認 ・平成29年度の インフルエンザに罹患した職員の把握 ・身上確認の実施 ・相模原市安全に安心して自転車を利用しよう条例の周知活動 ・健康診断の実施 ・職場巡視と4S活動の実施 ・職員の駐車場整備 ・就業規則の紙ベース配布（部署毎） ・メンタルヘルスケア研修（公益財団法人介護労働安定センター）24名受講 ・KYTトレーニング
次年度に向けて	・職場で労災事故が発生してしまった。事故毎に分析をして再発防止に取り組む。 ・セクハラ、パワハラ防止活動

【感染対策委員会】

開催実績	H30.4.3（火）、H30.7.10（火）、H30.10.12（火）、H30.11.6（火）、H30.12.4（火） H31.1.8（火）H31.2.5（火）、H31.3.5（火） 臨時 H31.1.15（火）H31.1.25（金）H31.1.28（火） 勉強会 H30.7.26（木）・H30.7.27（金）H30.11.20（火）
今年度委員会での 協議・活動内容	食中毒対策研修「夏の季節の感染症」7月 感染症予防外部研修参加 9月 感染症発生報告・感染症対応者リスト追加 結核検診 利用者・職員 7月 指針見直し・マニュアル見直し 4月 インフルエンザ・ノロウイルス予防対策（室温・湿度管理、手洗い・うがい励行、予防接種、環境整備（消毒）面会者管理 11月～3月末 インフルエンザ発生時の初期対応強化、感染症発生拡大防止 感染症対策の内部研修
次年度に向けて	インフルエンザワクチン接種 肺炎球菌ワクチン 感染・食中毒防止対策勉強会 室温・室温管理継続・加湿器追加購入 感染症発生管理強化 感染症発生時のマニュアル作成

【褥瘡対策委員会】

開催実績	H30.4.3（火）、H30.7.10（火）、H30.10.12（火） H31.1.8（火）、H31.3.5（火）、 （勉強会 H30.10.29（月））
今年度委員会での 協議・活動内容	褥瘡マニュアルと指針の見直し 委員会メンバーの役割分担決め 褥瘡高リスク者の確認と今後の対策 勉強会、研修について準備・検討 オムツの交換時間等ケア評価 外部研修参加
次年度に向けて	勉強会、研修 褥瘡用福祉用具の有効活用継続 看取り対象者のスキンケアに力を入れていく 難治皮膚トラブル者へのケア評価の継続

【喀痰吸引取扱対策委員会】

開催実績	H30.4.3（火）、H30.7.10（火）、H30.10.12（火） H31.1.8（火）、H31.3.5（火） （勉強会 H30.4.23（月）・H30.4.25（水））
今年度委員会での 協議・活動内容	胃瘻・吸引のマニュアルと指針の見直し 変更なし 委員会メンバーの役割分担決め 胃瘻・吸引研修修了者の確認・申請 2号・4号研修修了者の実務研修 4名 胃瘻・吸引対象者の計画書・指示書・同意書の作成・管理 ヒヤリ・ハット報告、アクシデント報告案件の分析・対応策検討・評価 0件 勉強会 救急対応（看取り委員会と合同）4月 感染症発生時の胃瘻・吸引管理についての検討
次年度に向けて	2号研修修了者・実務研修修了者の実施研修受け入れ継続 胃瘻・吸引技術、マニュアルの啓蒙 ヒヤリ・ハット報告、アクシデント報告の減少への取り組み 胃瘻・吸引対象者の計画書・指示書・同意書の作成・管理継続 講習会 感染症の方の胃瘻・吸引対応

【事故対策委員会】 OK

開催実績	H30.4.17 (火) H30.5.15 (火) H30.6.19 (火) H30.7.17 (火) H30.8.21 (火) H30.9.18 (火) H30.10.16 (火) H30.11.20 (火) H30.12.18 (火) H31.1.15 (火) H31.2.19 (火) H31.3.19 (火)
今年度委員会での 協議・活動内容	・ 会議開催（毎月 1 回の実施） 各部署からの事故発生状況報告。 ・ 困難事例の検討、重症事故などの確認、現場指導などの各種号令。 ・ 薬の取り扱いに関する、意識改革への取り組み。 ・ 現場、現実、現物の調査と改善指導。 ・ H29.6.20 (火) 施設内研修「事故発生、緊急時の対応」実施 ・ H29.9.28 (木) 施設内研修「事故の発生予防」実施
次年度に向けて	・ 集計作業は、集計だけで終わりにせず、その数字や内容から見えることを判断し、それらを次の取り組みに活かしていく。 ・ 事故の内容を良く捉え、初歩的な不注意などから起きてしまうような事例は限りなくゼロに近づけていくよう、日常指導や改善活動を推進していく。 ・ 薬のトラブルの解決に向け、ヒューマンエラーの発生しにくい体質を作り上げ、発生ゼロを目指していく。

【入退所検討委員会】

開催実績	<本館>H30.5.1 H30.5.21 H30.6.28 H30.9.20 H30.9.25 H30.10.9 H30.10.23 H30.11.5 H30.11.7 H30.11.28 H30.12.12 H30.12.14 H31.1.23 H31.2.7 H31.3.1 H31.3.13 <新館>H30.4.1 H30.4.11 H30.5.1 H30.5.11 H30.5.21 H30.5.18 H30.6.7 H30.6.18 H30.8.8 H30.8.2 H30.9.14 H30.9.27 H30.10.24 H30.11.22 H30.12.4 H30.12.14 H31.3.28
今年度委員会での 協議・活動内容	・ 稼働率及び待機者状況の確認 ・ 事前面談実施後の入所判定会議運営及び他職種間協議 ・ 新規入所者の利用状況確認 ・ 退所者カンファレンス
次年度に向けて	・ 待機者管理の精度が高まっている。次年度も引き続き取り組んでいく。 ・ 事前面談時に生活歴やその人らしさの情報をもっと集めていきたい。 ・ 事前面接の件数と実際に入所案内可能なケースに差異がある 1 年であったので、入所申込書の確認や面談前の KP 及び関係者への聞き取りを強化し、スムーズな新規入所案内ができるよう意識する。

【個人情報保護推進委員会】

開催実績	H30.9.5（水） H30.11.19（月） H31.2.26（月）
今年度委員会での 協議・活動内容	・書類廃棄（溶解） ・書庫の鍵の確認と管理 ・個人情報保護法についての外部研修への参加（H30.11.19） ・法令確認とマニュアルの確認 ・施設内研修会（H31.2.26）の実施
次年度に向けて	社会福祉法人として、個人情報保護法に対して、どのように取り組んでいくのかを、改めて精査して、書類やデータ管理の整備を行っていきたいと思います。 部署ごとに作成したマニュアルとルールを説明したうえで、運用していき、不具合点を修正していきたいと思います。

【排泄委員会】

開催実績	H30.4.3 H30.5.1 H30.6.5 H30.7.10 H30.8.7 H30.9.4 H30.10.2 H30.11.7 H30.12.5 H31.1.9 H31.2.5 H31.3.5
今年度委員会での 協議・活動内容	委員会の目的と活動内容についての説明、対象ご利用者の選定と取り組み内容の検討と実行。 1 か月ごとの評価。多職種による話し合い。 次年度へ向けて対象者の選定
次年度に向けて	加算への取り組みを行っていく

【広報委員会】

開催実績	H30.4.20（金） H30.5.18（金） H30.6.22（金） H30.7.20（金） H30.8.24（金） H30.9.21（金） H30.10.19（金） H30.11.16（金） H30.12.21（金） H31.1.18（金） H31.2.15（金） H31.3.15（金）
今年度委員会での 協議・活動内容	・「塩田ホームだより」の編集、発行。毎月第3金曜会議開催。 ・在宅・特養分けての発行とする。 ・毎号の各フロアの写真振り分けや、ページ内容見直し、修正、印刷。 4/5=6月号、6/7=8月号、8/9=10月号、10/11=12月号、12/1=2月号、2/3=4月号（計6号発行） ・ペットボトルキャップのワクチン寄付活動 ・アルミ製プルタブ車椅子活動
次年度に向けて	・広報誌の編集（再度編集見直し行う・発行。）（年度6号発行予定：2か月毎） ・施設（活動等）写真の保管。 ・アルミ製プルタブ車椅子活動引続き行う（目標20～25kgで一度発送） ・広報誌のマニュアルの作成を行う（写真の選定基準など）。

＜平成 30 年度 塩田ホーム会議運営について＞

【職員会議:運営会議】

開催実績	毎月1回のペースで開催 (H30.4. H30.5.22 H30.6.25 H30.7.11 H30.8.8 H30.9.20 H30.10.23)
協議・活動 内容	＜運営会議(主任会議)の主な議題＞ ・毎月の行事予定、業務連絡事項等の確認 ・毎月の各部署別稼働実績報告 ・各委員会活動報告 ・今年度事業計画について ・前年度事業報告について ・今年度ランニングコスト対策について ・感染症対策ツールの活用 ・介護保険サービスの法令順守対策(運営状況点検書) ・労働法改正対策(有給休暇、 ・各種申請様式の提出方法周知等(勤怠管理手続きの確認) ・職員採用対策(就職相談会対策) ・安全運転管理対策について ・施設防犯対策について ・施設防災対策について ・職場のルール対策(ハラスメント対策等) ・塩田ホーム納涼祭について ・ボランティア、実習生受入対策について ・人事考課について(年度当初目標～中間考課～期末考課) ・職員労働環境について(労働災害対策) ・行政連携対策(指導監査等) ・医療連携対策(救急連絡シート等)について
次年度に 向けて	・各部門の掲げる年度目標の達成状況に向けた取り組み ・部署間の連携の強化(施設部門強化 在宅部門強化 全体連携) ・塩田ホーム全体のクオリティ向上に向けた重点取り組み項目の設定と実践(事故防止・接遇) ・人材確保と人材教育に向けた活動強化 ・2019年10月介護保険制度改正の対応 ・働き方改革についての対応(労務管理体制の向上) ・事業所間連携(塩田ホームとほの里南林間) ・外国人技能実習生対策と活用 ・研修計画の遂行に向けた実践活動(内部研修の充実)

【居宅介護事業所】

開催実績	毎週水曜日 17:00 より定期開催。
今年度の 協議・活動内容	ケアマネ間での情報共有（介護保険制度、事業所等について） オンコール対応について（時間外の連絡内容について） 各ケアマネの担当ケースについて（事例検討、支援困難事例等 研修計画について
次年度に向けて	地域貢献や新規利用者受け入れ拡大にむけての取り組み 支援困難事例の対応についての情報共有 各高齢者支援センターとの連携強化。 研修情報の共有。

【訪問介護事業所】

開催実績	月 1 回 15:15 よりヘルパー会議開催。 管理者・サービス提供責任者とのミーティング（不定期）
今年度の 協議・活動内容	ヘルパー間の情報共有（利用状況、利用者評価） ヘルパー支援時の駐車について 非常勤ヘルパーの指導その他人材確保にについて 事業所加算について 特定計画相談支援事業について
次年度に向けて	事業所加算実施に向けての取り組み 特定計画相談支援に向けての取り組み 非常勤ヘルパーの介護保険・総合事業・自立支援事業（障害サービス）理解の強化

【医務】

開催実績	H30.4.27（金）、H30.5.23（水）、H30.6.26（火）、H30.7.23（火）、 H30.8.15（水）、H30.9.25（火）、H30.10.31（水）、H30.12.14（金）、 H31.1.29（火）、H31.2.5（火）
今年度の 協議・活動内容	運営会議内容報告 業務見直し（新入職者、退職者、長期休暇者に伴う変更調整、申し送り方法の検討） 担当業務・他部署との調整、確認 誤薬防止手順見直し
次年度に向けて	業務の分担とスリム化を図る 他職種との連携強化 医務室内のコミュニケーションの強化 医務室内マニュアルの見直し

【相談援助部門】

開催実績	運営会議開催後、毎月部門会議を開催する。 (その他日常的な申し送り事項等は毎日終礼時に実施)
今年度の 協議・活動内容	・担当変更に伴う業務確認(生活相談員・施設ケアマネ) ・業務分担確認(受診・送迎・買物・各種入力作業等) ・稼働率確認(特養：入退所及び入退院/SS：入退所) ・次年度に向けたスケジュール確認(※管理栄養士含む) ・その他伝達事項
次年度に向けて	・担当変更(特養⇄SS)に伴う業務全般の引き継ぎ ・次年度の年間予定確認(ナリコマ説明会・地域懇談会・その他各行事等)

【通所介護】

開催実績	月 1 回デイ会議開催 30/4/9(月) 5/16 (水) 6/15 (金) 7/5 (木) 8/10 (金) 9/7 (金) 10/10(水) 11/9 (金) 12/5(水) 1/9(水) 2/7(木) 3/6 (木) 毎月 1 回の所内研修実施(基本全員参加)
今年度の 協議・活動内容	・稼働率の安定にむけて ・利用者対応 ・イベント企画について ・15 周年の記念行事開催(地域との交流を深めるイベントについて) ・
次年度に向けて	・個別ケアの充実化を高め、利用者と家族に寄り添えるサービスの向上を目指す。 ・職員間での報連相の強化

【ショート】

開催実績	・全体会議 4 月 26 日、7 月 31 日、9 月 8 日、10 月 31 日、2 月 18 日、3 月 28 日 ・リーダー会議 4 月 17 日 ・モクレン 4 月 26 日、5 月 17 日、6 月 22 日、7 月 31 日、9 月 8 日、10 月 31 日 11 月 15 日、12 月 13 日、2 月 18 日、3 月 28 日 ・モモ 4 月 26 日、5 月 18 日、6 月 26 日、7 月 31 日、9 月 8 日、10 月 31 日、11 月 13 日、12 月 19 日、2 月 18 日、3 月 28 日
今年度の 協議・活動内容	・30 年度忘れ物、事故の検討、振り返り ・各ユニット会議(今期の目標、課題等) ・研究発表(内部研修 10 月) ・ほのぼの導入に向けて研修 ・活動行事(10 月外出レク、12 月クリスマス会、3 月出前レク等)
次年度に向けて	・今年度各ユニットでかかげた目標に向け、達成するための取り組みをしていく。 ・30 年度誤薬、忘れ物を出さない為にシステム継続

【本館】

開催実績	全体会議 H30.4.27 H30.7.23 H30.10.23 H31.3.27 リーダー会議 H30.3.17 H30.5.23 H30.6.21 H30.7.22 H30.8.22 H30.9.22 H30.10.25 H30.11.22 H31.1.26 H31.2.15 H31.3.25 1F 職員会議 H30.5.29 H30.6.26 H30.8.25 H30.12.11 H30.2.14 2F 職員会議 H30.5.28 H30.6.28 H30.8.22 H30.12.10 H30.2.11
今年度の 協議・活動内容	・各グループの今期の目標に向けて ・接遇向上計画 ・30年度事故対策について（見守りの仕方、職員間の声掛け等） ・各グループの現状の問題について（グループ、主任、副主任） ・全体行事（7月運動会、11月日帰り旅行、12月クリスマス会） ・全体業務見直し（入浴時間の変更等）
次年度に向けて	・30年度事故振り返り ・31年度事故対策 ・各グループの今期の目標に向けて活動 ・接遇向上 ・毎月の会議実施（個別ケアに向け統一を図る） ・全体業務見直し（食事、排泄、入浴マニュアル作成）

【新館】

開催実績	新館役職者会議 4/7 5/9 6/7 7/5 8/4 9/5 10/16 11/22 12/10 2/1 3/4 うめユニット 4/19,5/20,6/28,7/17,8/14,9/28,10/31,11/30,12/22,1/26,2/25,3/28 さくらユニット 4/9,5/8,6/9,7/10,8/15,9/24,10/17,11/12,12/14,1/22,2/26,3/25 つつじユニット 4/13,5/6,6/22,7/19,8/10,9/2,10/13,11/15,1/6,2/21,3/21 ふじユニット 4/11,6/10,7/13,8/20,9/9,10/19,11/13,12/22,1/14,2/23,3/29 あかしあユニット 4/24,5/22,6/20,7/18,8/22,9/19,10/26,11/19,12/21,1/16,2/25,3/29																				
今年度の 協議・活動内容	<table border="0"> <tr> <td>(ユニット)</td><td>(全体)</td></tr> <tr> <td>・今年度の工程表確認</td><td>・ユニットケア研修</td></tr> <tr> <td>・各ご利用者の対応について</td><td>・認知症ケア研修(6月 12月)</td></tr> <tr> <td>・事故対策の振り返り</td><td>・合同レク(5月 7月 10月 1月)</td></tr> <tr> <td>・ケアの質の向上の話し合い(6月排泄 9月食事 12月入浴 3月接遇)</td><td></td></tr> <tr> <td>・合同レク</td><td>・誤薬防止の話し合い</td></tr> </table> (役職者) <table border="0"> <tr> <td>・各ユニットの現状状況</td><td>ユニット炊飯</td></tr> <tr> <td>・ユニット会議日程の確認</td><td>24時間シート</td></tr> <tr> <td>・合同レクについて</td><td>・リーダーとしての確認</td></tr> <tr> <td></td><td>・申し送り事項</td></tr> </table>	(ユニット)	(全体)	・今年度の工程表確認	・ユニットケア研修	・各ご利用者の対応について	・認知症ケア研修(6月 12月)	・事故対策の振り返り	・合同レク(5月 7月 10月 1月)	・ケアの質の向上の話し合い(6月排泄 9月食事 12月入浴 3月接遇)		・合同レク	・誤薬防止の話し合い	・各ユニットの現状状況	ユニット炊飯	・ユニット会議日程の確認	24時間シート	・合同レクについて	・リーダーとしての確認		・申し送り事項
(ユニット)	(全体)																				
・今年度の工程表確認	・ユニットケア研修																				
・各ご利用者の対応について	・認知症ケア研修(6月 12月)																				
・事故対策の振り返り	・合同レク(5月 7月 10月 1月)																				
・ケアの質の向上の話し合い(6月排泄 9月食事 12月入浴 3月接遇)																					
・合同レク	・誤薬防止の話し合い																				
・各ユニットの現状状況	ユニット炊飯																				
・ユニット会議日程の確認	24時間シート																				
・合同レクについて	・リーダーとしての確認																				
	・申し送り事項																				
次年度に向けて	(ユニット)・各ご利用者の対応について、各ユニットレクリエーションについて (役職)・各部署の現状についてと話し合い 合同レク、ユニットケアについて (合同)・ユニットケアについての理解 認知症研修 合同レク(5・7・10・1・2月)																				

3、各ケアマネジメント実践の担当者会議

【給食会議】

開催実績	H30.4.2(月) H30.5.14(月) H30.6.4(月) H30.7.2(月) H30. 8.6(月) H30.9.3(月) H30.10.15(月) H30.11.5(月) H30.12.3(月) H31.1.7(月) H31.2.4(月) H31.3.4(月) H31.3.22(金)
今年度担当者会議での協議・活動内容	・各部署からの意見交換（利用者の状態、食形態の変更や再確認） ・月の行事の確認 ・利用者個々に合った形態、新しい食事形態の意見交換
次年度に向けて	・引き続き、行事予定の食事提供の再確認 ・会議内で喫食状況をよく話し合い、ヒューマンエラーの防止 ・食事の楽しんで頂けるような献立やイベント食の内容を話し合いしていく。

【本入所サービス担当者会議】

開催実績	〈新館〉 H30.4.18(水) H30.4.19(木) H30.4.23(月) H30.5.18(金) H30.5.21(月) H30.6.20(水) H30.6.25(月) H30.7.17(火) H30.7.23(月) H30.8.15(水) H30.8.20(月) H30.8.22(水) H30.8.24(金) H30.9.13(木) H30.9.14(金) H30.9.19(水) H30.10.12(水) H30.10.15(月) H30.10.17(水) H30.10.30(火) H30.11.15(木) H30.11.22(木) H30.12.13(木) H20.12.19(水) H31.1.21(月) H31.1.22(火) H31.1.23(水) H31.2.12(火) H31.2.14(木) H31.2.20(水) H31.3.20(水) H31.3.25(月) H31.3.27(水) 〈本館〉 H30.4.24(火) H30.4.25(水) H30.5.28(月) H30.5.29(火) H30.6.27(水) H30.7.25(水) H30.7.26(木) H30.8.27(月) H30.8.28(火) H30.9.26(水) H30.9.27(木) H30.10.24(水) H30.10.25(木) H30.11.26(月) H30.12.25(火) H31.1.29(火) H31.1.30(水) H31.2.25(月) H31.2.27(水) H31.2.28(木) H31.3.29(金)
今年度担当者会議での協議・活動内容	・看取り介護加算実施 ・ご利用者の状況に応じ、適宜担当者会議の実施 ・ご利用者・ご家族の意向をプランに反映 ・認知症病態別の理解について、職員研修の実施
次年度に向けて	・排泄ケア加算算定(H30.9月より) ・個別ケアの実践、ご利用者の生活の質の向上 ・認知症ケアの専門職としての継続的な職員研修の企画

【苦情相談担当者会議】

開催実績	H30.5.18(火) H30.7.4(月) H30.9.25 (火) H30.12.11 (金)
今年度担当者会議での協議・活動内容	・ 苦情/相談ケースの検討、カンファレンスの実施、 ・ 苦情につながる接遇についての内部研修の実施 ・ 神奈川苦情相談講演会参加（加藤/西島参加） ・ 外部講師による研修会実施にむけ検討をおこなう。
次年度に向けて	苦情相談ケースを現場にも周知し再発防止に努めるという流れが構築を引き続き行い継続していく。

【栄養ケア会議】

開催実績	〈新館〉 H30.4.18(水) H30.4.19(木) H30.4.23(月) H30.5.18(金) H30.5.21(月) H30.6.20(水) H30.6.25(月) H30.7.17(火) H30.7.23(月) H30.8.15(水) H30.8.20(月) H30.8.22(水) H30.8.24(金) H30.9.13(木) H30.9.14(金) H30.9.19(水) H30.10.12(水) H30.10.15(月) H30.10.17(水) H30.10.30(火) H30.11.15(木) H30.11.22(木) H30.12.13(木) H30.12.19(水) H31.1.21(月) H31.1.22(火) H31.1.23(水) H31.2.12(火) H31.2.14(木) H31.2.20(水) H31.3.20(水) H31.3.25(月) H31.3.27(水) 〈本館〉 H30.4.24 (火) H30.4.25 (水) H30.5.28 (月) H30.5.29 (火) H30.6.27 (水) H30.7.25 (水) H30.7.26 (木) H30.8.27 (月) H30.8.28 (火) H30.9.26 (水) H30.9.27 (木) H30.10.24 (水) H30.10.25 (木) H30.11.26 (月) H30.12.25 (火) H31.1.29 (火) H31.1.30 (水) H31.2.25 (月) H31.2.27 (水) H31.2.28 (木) H31.3.29 (金)
今年度担当者会議での協議・活動内容	・ 食事摂取量、数値等の現状を家族、他職種間で説明。 ・ 利用者個人に合った食形態の作成。 ・ 課題が生じた時は、出席者で周知し、次回までの課題と解決に向けていく。
次年度に向けて	・ 本人と家族の希望や意見を聞き、他職種間で話し合いを行い利用者個人に合った食形態の検討 ・ 分かりやすい説明を心掛け ・ 現在使用している栄養補助食品や経管栄養剤は実物を持参し、家族に説明

【口腔ケア担当者会議】

開催実績	H30.4.16(月) H30.5.21(月) H30.6.18(月) H30.7.23(月) H30.8.20(月) H30.9.10(月) H30.10.15(月) H30.11.19(月) H30.12.17(月) H31.1.21(月) H31.2.18(月) H31.3.18(月)
今年度担当者会議での協議・活動内容	・口腔ケア用品の衛生管理 ・課題のあるご利用者の個別ケアについての助言・指導を受け、周知と実践 ・口腔ケア会議に他職種が参加して、口腔ケアに対する意識向上
次年度に向けて	・口腔ケアの重要性の理解、周知 ・口腔ケアスキルの維持・継続

【リハビリ推進担当者会議】

開催実績	H30.5.25 (金), H30.7.24 (火), H30.9.28 (金), H30.11.30 (金), H31.2.1 (金) H30.12.11 (火)
今年度担当者会議での協議・活動内容	・利用者リハビリ事例検討 ・外部研修参加 ・地域交流 生き生き百歳体操協力 ・個別機能訓練計画書作成とリハビリ実施 ・個別機能訓練加算算定への取り組み ・内部研修「訪問リハの対象者と内容」
次年度に向けて	・生活リハビリの継続 ・地域交流 生き生き百歳体操 協力・啓蒙 ・リハビリ目的行事の企画運営 ・外部 PT を講師に研修会実施 ・リハビリ加算算定要件の評価・徹底（記録物管理）

【親睦会】

開催実績	H30.4.26 H30.5.24 H30.6.21 H30.8.23 H30.9.26 H30.10.25 H30.11.29 H30.12.27
今年度委員会での協議・活動内容	・新入職員歓迎会(ボーリング大会) H30.7.9 参加者 43名(大人36名 小人7名) ・職員名簿作成(写真のみ) ・相模原市高齢協親睦会参加(4名) リアル宝探し よみうりランド ・職員スポーツ大会(総合体育館)H30.11.9 参加者 27名 ・職員新年会 H31.1.15 アドマニにて 参加者 73名
次年度に向けて	・新入職員歓迎会 ・職員が参加しやすいイベントの企画 ・新年会

【排泄担当国会議】

開催実績	H30.4.24 H30.5.22 H30.6.26 H30.7.24 H30.9.12 H30.10.23 H30.11.27 H30.12.25 H31.1.22 H31.2.26 H31.3.26
今年度委員会での 協議・活動内容	・排泄用品メーカーさんとの毎月の発注数の確認 ・排泄用品のコスト削減の話し合い ・サンプル品の使用と確認 ・部署間の連携 ・内部研修（H30.9.12）
次年度に向けて	・コスト削減への検討 ご利用者ひとり一人に合った快適な排泄環境への取り組み ・内部研修(各部署ごと)を行い排泄ケアのレベル向上とコスト削減の意識付け

<平成 30 年度 日常生活活動成果について>

① クラブ活動開催実績

- ・書道クラブ…毎月1回開催。(年間 12 回 開催)
- ・生花クラブ…毎月1回開催。(年間 12 回 開催)

活動の成果

参加される方は毎月楽しみにされており、作品を展示した際は、嬉しそうにご自身の作品を眺めている姿が見受られます。秋には塩田自治会の文化祭に展示する作品の作成に取り組みました。お正月の時期には、松や南天など色鮮やかな作品が完成しました。

② ボランティア訪問等実績

- ・クローバー(歌の教室)…毎月第 1・3 木曜日に開催。(年間 20 回 開催)
- ・ハーモニカボランティア…毎週火曜日:2ユニットずつおやつの時間に演奏 4回開催(上半期のみ)

活動の成果

パブリックスペースが埋め尽くされる程の参加があり、大勢で歌う場面での迫力は圧巻です。歌うことはご利用者の元気の源となっています。

ハーモニカボランティアを本年度から実施致しました。一つの場所に集まるスタイルではなく、演奏者が各ユニットを回り、演奏を披露し、おやつとハーモニカの音色を楽しむスタイルで開催いたしました。地域のボランティアとそのユニットのご利用者の距離が近く、とても和やかな時間となりました。

- ・K ナインハワイアンバンド…平成 30 年 5 月 24 日・8 月 10 日 14 時～15 時 4 名来所

活動の成果

定期的にご来所いただき、生演奏や踊りを披露して頂いており、ご利用者や職員も舞台に上がり、とても盛り上がりました。

③ 家族交流実績

デイサービス 15 周年感謝祭 平成 31 年 3 月 30 日(土) 13 時半～15 時半

活動の成果

デイサービス職員を中心にご利用者・ご家族及び地域住民に対して日頃の感謝の気持ちを込めて飲み物とお菓子の提供(¥100)を行いました。他者交流の有意義な場として皆様楽しい時間を過ごされました。売上金は相模原市社会福祉協議会へ寄付いたしました。

美化清掃…平成 30 年 8 月 4 日

活動の成果

ご家族にご来所して頂き、施設の除草作業を職員と一緒に行いました。昨年度は多くのご利用者が退所され、行事やイベントへの参加経験の少ないご家族が多い中、20名のご家族にご協力をいただくことが出来ました。除草作業後、会食も行い、ご家族同士でたくさん交流を図る場面が見られました。

④ 地域交流活動

・地域懇談会…平成 30 年 5 月 26 日(土) 11 時～12 時半

活動の成果 【地域参加者:17 名 塩田ホーム職員:7 名】

例年同様、田名塩田地区自治会及び地域ボランティアの皆さんと塩田ホームの年間行事予定の日程調整の場を設けさせて頂きました。新たにお目にかかる方もおり、1 年間様々な場面において、お力添えを頂戴する皆様との顔合わせの場となりました。

・白寿会とのカラオケ交流…平成 30 年 6 月 27 日(水) 10 時～11 時半

活動の成果

白寿会及び婦人部の方と塩田ホームのご利用者が一緒にカラオケを通して交流を図ることができました。今年度は特養(従来型/ユニット型)と在宅部門(ショートステイ/デイサービス)が分かれ、2 部構成で企画・運営し、より多くのご利用者が参加でき、大変喜ばれておりました。

・塩田夏祭り(天地社)…平成 30 年 7 月 15 日(日) 9 時半～10 時

活動の成果 【ご利用者:約 70 名 地域住民:約 100 名】

例年同様、子ども神輿及び塩田囃子連の皆様が来所されました。

・自治会の会合に参加…平成 30 年 10 月 20 日(土) 19 時～20 時半

活動の成果

田名塩田地区文化祭に向けて自治会の会合に参加させていただく。集まりの中には日頃から交流のある方も多く、お声がけをいただきました。婦人会や消防団、子供会等の参加もあり活発な意見交換もあり地域活性の為の熱を感じました。

・津久井高齢者支援センター 施設見学…平成 30 年 10 月 26 日(金) 13 時半～15 時

活動の成果 見学者:8 名 高齢者支援センター職員:2 名 来所される。

津久井高齢者支援センターより、施設見学会の協力依頼を受け、開催しました。

前半は塩田ホームの事業内容や施設設備・行事等、パワーポイントを活用しながら説明会を行なった。後半は 2 グループに分かれて施設見学をしてもらっています。

皆様、特養に関心を持たれていて、利用料金・食事内容・外出の有無・1 日の流れなど、多くの質問が飛び交った。田名塩田地区の皆様はもちろん、それ以外の地域の皆様が足を運んでくださる機会を今後も作りたいです。

・田名塩田地区文化祭…平成 30 年 11 月 17 日(土)(展示のみ)・11 月 18 日(日)(フリーマーケット・展示)

活動の成果

ご利用者が制作した刺繍や紐飾り・小さな門松・ご利用者の制作時の様子を模造紙にまとめたもの等を展示しました。特養・ショートステイより 15 名のご利用者が塩田天地社の会場にてフリーマーケットや飲み物など買物や他者交流を楽しめました。また、塩田ホームとして、職員が持ち寄った商品をフリーマーケットに参加し出品しました。多くの地域住民が足を運んでくださいました。なお、8,515 円の売り上げ金額は相模原市社会福祉協議会へ寄付しました。

・餅つき・正月飾り作り…平成 30 年 12 月 15 日(土) 10 時～12 時半

活動の成果

白寿会や地域ボランティアの皆様・生花クラブの先生など、多くのご協力のもとイベントが成立しました。餅つきでは、ご利用者・職員・ボランティアの皆さんが笑顔で餅をつかれており、ついた餅をユニット・グループごと、職員見守りのもと召し上がられました。一部お餅は委託清掃会社職員や他施設へ配布しています。

正月飾り作りでは、藁を分ける作業や束ねる作業など、地域住民の指導のもと、手分けしてスムーズに行い、お正月を迎える準備を整えることができました。

・ボランティア感謝祭…平成 30 年 9 月 24 日(月/祝) 12 時半～13 時半

活動の成果 ボランティア:26 名 来所

日頃より塩田ホームのクラブ活動・イベントにご協力を頂いているボランティアの皆様に対し、これまでお礼の気持ちを伝える場が少なく、さんま祭りの一環として、今年初めてボランティア感謝祭を開催した。皆様一堂に会することもないので、グループごとに挨拶して頂き、全員で記念撮影を行なった。

別の団体がどのように塩田ホームとかかわりを持っているのかなど、ボランティア同士の交流の場となりました。

・地域セミナー会場の提供…平成 30 年 9 月 11 日 10 時～11 時半

活動の成果

塩田ホームを会場として社会保険労務士の古瀬麻理子先生に講師を依頼し、相続と遺言をテーマにセミナーを開催いたしました。田名地区情報誌にご案内を掲載し、17名の地域の方が参加されました。地域の方より「普段、聞けなくても聞きにくい内容でとても良かった」等のお言葉をいただきました。

・いきいき 100 歳体操… 毎週火曜日 10 時～11 時

活動の成果

毎週 15 名前後の田名塩田地区にお住いの皆様がパブリックスペースにて体操に取り組んでいます。定期的に田名地区社協職員による体力測定を行い、取り組みの成果を確認しています。また、最近ではいきいき体操終了後に、【もの忘れ予防体操】を自発的に行なっています。

・介護相談員の訪問…2 名の介護相談員が月 1 回ずつ訪問し、ご利用者の話を伺っております。

活動の成果

ご来所時はその日の活動だけでなく、ホームの近況と、その後のイベントのご報告を致しました。介護相談員が知り得たご利用者の声を確認する機会も設けております。

⑤ 世代間交流活動実績

＜園児との交流＞

- ・横山台保育園・・・平成 31 年 3 月 13 日(水) 14 時～15 時 (園児:23 名／職員:3 名 来所)
- ・新磯保育園・・・平成 31 年 3 月 6 日(水) 14 時～14 時半(園児:21 名／職員 3 名 来所)

活動の成果

今年度はインフルエンザの影響もなく予定通り開催することができました。元気いっぱいのステージ発表や風船バレー・あやとり・独楽回しなど、元気いっぱいの園児たちよりたくさんのパワーをもらって楽しい時間を過ごすことができました。

＜小・中学生との交流＞

- ・夢の丘小学校(地域体験)・・・平成 30 年 11 月 13 日 9 時～ 14 時 (6 年生: 6 名来所)

活動の成果

初めは、声も小さくかった子達が、後半になると大きな声でご利用者と一緒に笑い、お手伝いもでき、帰りには自信をもって帰って行った姿が印象的でした。今後も取り組んで行けたらと思います。

平成 30 年度
ほの里南林間 事業活動報告書



社会福祉法人 大地の会

平成 30 年度 事業総括

■ 施設全体

平成 30 年度 年間実績は 11,427,712 円、月末利用者数 52 名、平均要介護度 4 であった。

今年度は、今年度は平成 31 年 3 月 1 日で 1 ヶ月実績だが約半数の入所者を入所させることができ順調なスタートをきることができた。令和元年 5 月 27 日現在入所者数 72 名と 6 月末までに満床になる予定となっております。これから施設の土台を作っていく安定した施設運営を実施していきます

入所部門

ユニット型

月末在所者数 38 名(54.3%)、利用者延べ数 626 名、介護保険報酬額 60,371,85 円

施設利用料額 2,861,076 円、平均要介護 3.9 一人 1 日単価 14,214 円

特定入所者 第 2 段階 4 名(10.5%)、第 3 段階 7 名(18.5%) 一般 27 名(71%)

大和市在住割合 87%

従来型

月末在所者数 14 名(46.7%)、利用者延べ数 236 名、介護保険報酬額 1,911,706 円

施設利用料額 617,745 円、平均介護度 4.3 一人 1 日単価 10,718 円

特定入所者 第 1 段階 1 名(7%)、第 2 段階 1 名(7%)、第 3 段階 4 名(29%) 一般 8 名(57%)

大和市在住割合 85.7%

■ 短期入所部門

実施実績なし

5 月よりプレオープンを開始中。7 月より短期入所開始により 5 月より申し込み受付を開始した

以上